

平成 28 年度学力向上検証改善委員会第 1 回全体研修会

平成 28 年 10 月 3 日（月） 庄原市総合体育館 第 2 会議室

市内の小中学校において、各種調査結果等をもとに、児童生徒の学力の定着状況を検証するとともに、指導方法の改善を図ることにより、児童生徒一人一人の学力の向上に資することを目的に研修会を行いました。

【講話・協議】「平成 28 年度全国学力・学習状況調査の結果について」 「平成 28 年度『基礎・基本』定着状況調査の結果について」

庄原市教育委員会 指導主事 横山 博之

- 「平成28年度全国学力・学習状況調査」及び「平成28年度『基礎・基本』定着状況調査」の市の結果についての講話
- 「平成27年度庄原市内小・中学校一斉学力調査」の改善計画と「平成28年度『基礎・基本』定着状況調査」の改善計画を比較し、取組状況や成果・課題について分析し、ペアで協議
- 「平成28年度『基礎・基本』定着状況調査における『課題発見・解決学習』に関する児童生徒質問紙調査の回答状況」について分析し、ペアで協議



（参加者の感想より）

- ◆ 改善計画は立てても、前に立てた改善計画との比較や、効果があった方法などの検証はあまりしていなかった。効果があったもの、継続するもの、批正するものを整理し、今後の取組の重点化を図りたい。
- ◆ 改善計画を交流した中で、「誤答がなぜ誤答なのかを考えさせること」と、「生活と関連させること」が話題になった。児童が自分のこととして考え、「あれ？」「どうして？」と立ち止まって考えようとする場の設定を工夫していきたい。

【協議・演習】「広島版『学びの変革』アクション・プランを踏まえた 学力向上のための授業改善について」

庄原市教育委員会 指導主事 佐々木 孝

- 「平成 27 年度庄原市内小・中学校一斉学力調査」の改善計画と「平成 28 年度『基礎・基本』定着状況調査」の改善計画の比較から出てきた成果のあった取組について、効果の大小、取組の難易についてマトリクスを活用して分析し、グループで協議
- 「有効な取組と効果及び留意点」、「主体的な学びを促進する手立て」についてグループでまとめ、発表し全体共有



（参加者の感想より）

- ◆ キーワードのカード化は、すぐに明日の授業から行える具体的な授業改善であると感じた。自校に持ち帰り、ぜひ取り入れていきたい。
- ◆ 児童と一緒に、目的を明確にしたペア・グループ学習を仕組むことで、主体的な学びにつなげていきたい。
- ◆ これまでの取組について、効果の大小や取り組み易さをマトリクスで分析したことは、大変学びが深まった。様々な取組を、成果・課題だけで反省するよりも、振り返りが深くなると思った。